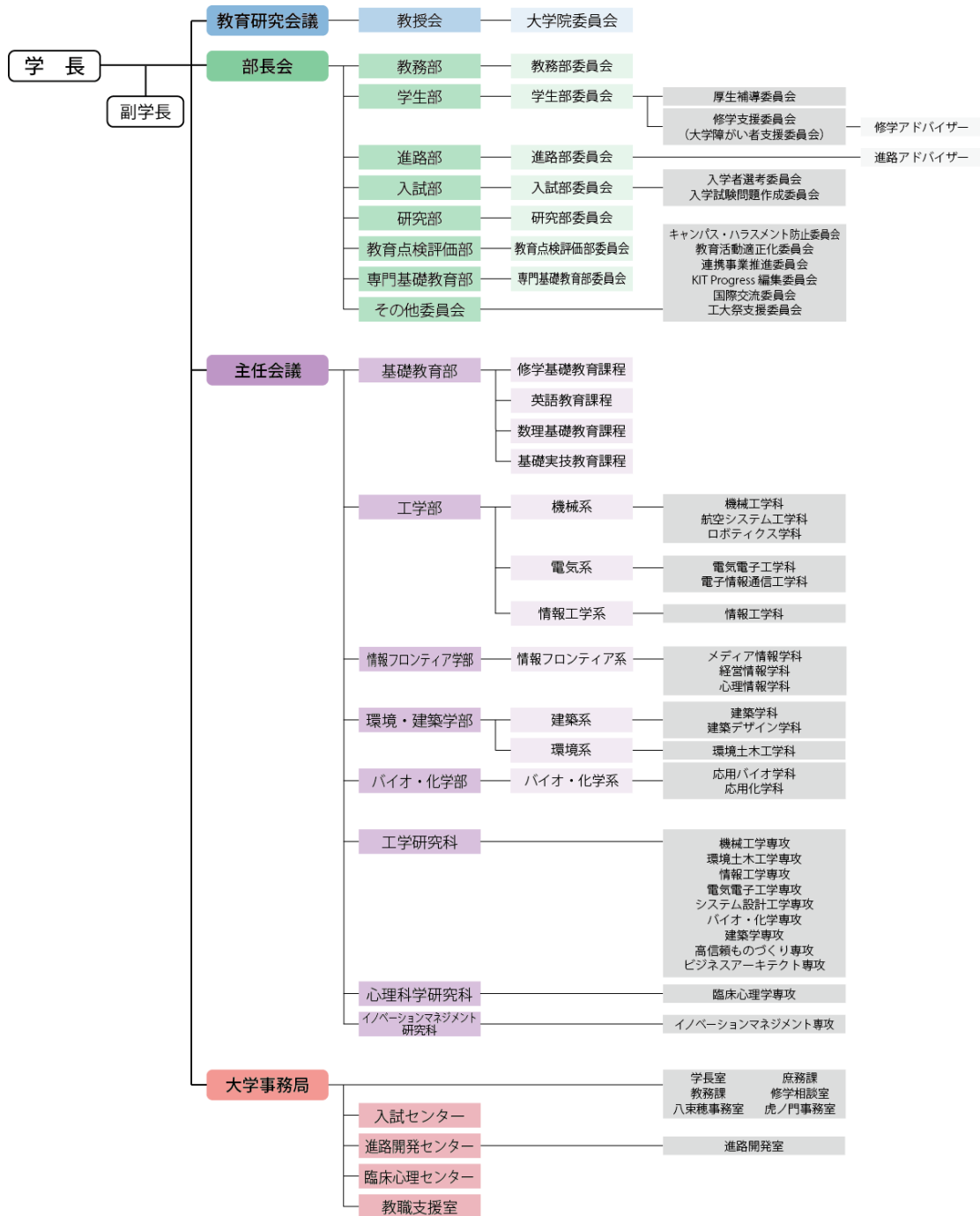


2. 学事運営組織

2.1 学事運営組織と役割

学事運営の組織構成と、部長会以下の主な役割を示します。



- 教務部：教務運営の方針及び教育実施状況の把握、教育内容の精査と改善及び授業満足度評価に関する事項
- 学生部：修学指導の方針及び修学アドバイザーの指導状況の把握、修学指導の評価と学生満足度評価に関する事項、学生の厚生及び補導に関する事項
- 進路部：進路指導の方針及び進路アドバイザーの指導状況の把握、進路開拓と卒業生満足度評価に関する事項
- 入試部：教育活性化のための入学者の数と質の確保に関する事項、入試システムの充実改善、入学者及びその保護者並びに高等学校の満足度評価に関する事項
- 研究部：大学全体の研究方針及び研究実施状況の把握、大学院における「高度な技術者教育」の実施に伴う教育方針及び教育内容の精査と改善
- 教育点検評価部：教育活性化のための教育実態把握と内容の評価及び改善、外部評価に対する対応と調整
- 専門基礎教育部：学部における専門基礎教育の実施方針及び実施状況の把握、専門基礎教育における教材開発及び改善等

2.2 教育支援・学習支援組織と機能

年間 365 日のうち、授業を実施している日数は 160 日で、残りの 205 日は夏期・春期休暇や日曜・祝日です（図 2-1 参照）。本学の教育目標である「自ら考え行動する技術者の育成」を達成するため、授業に加えて課外の教育プログラムも充実させ、年間 300 日、学生が主体的・自主的に活動できるキャンパスを目指しています。

学生の教育や学習を支援する枠組みを図 2-2 に、また、それを推進・支援する組織を以下に示します。

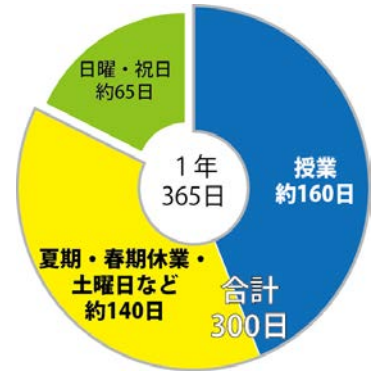


図 2-1 授業日数

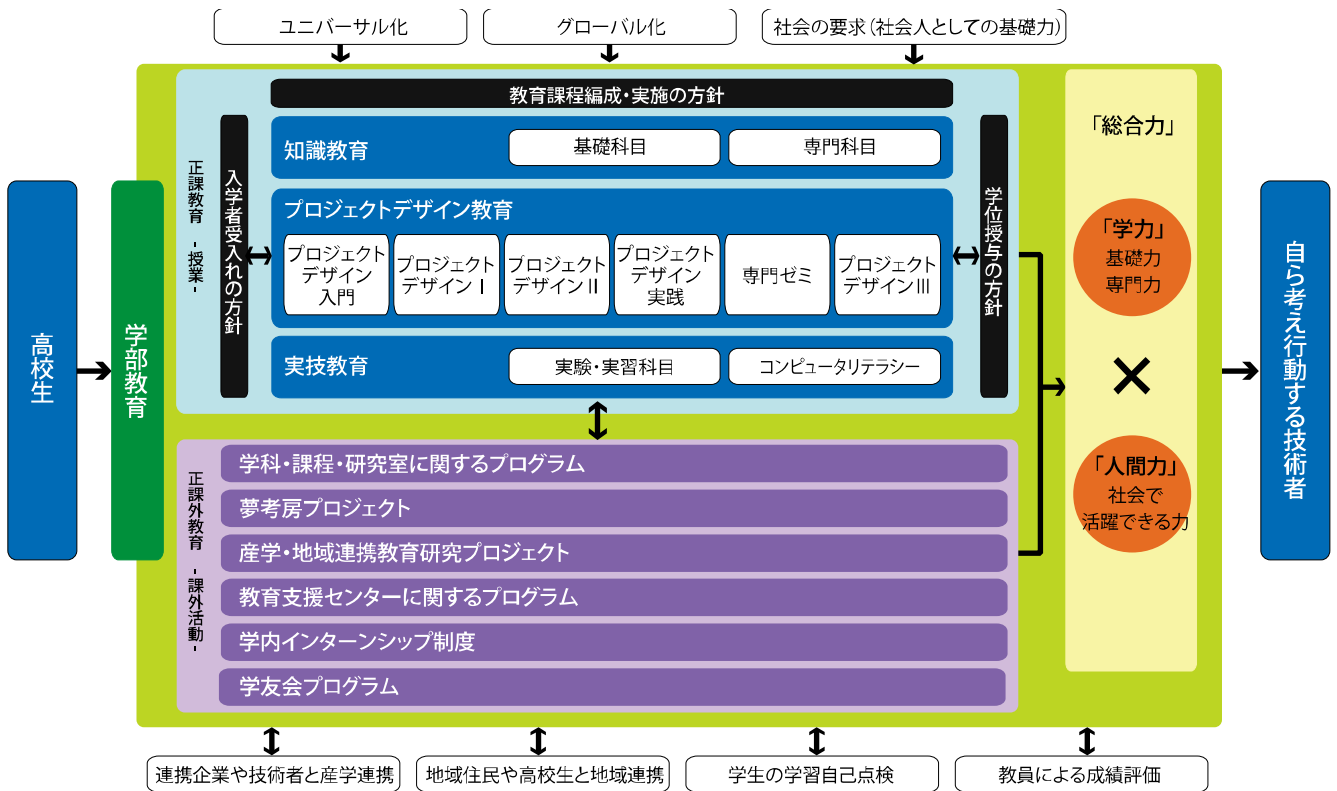


図 2-2 授業と課外活動の連携

① 大学事務局



大学事務局では、履修申請や成績、授業に関する各種手続きを担っているほか、修学や学生生活全般に関する質問や相談を行うこともできます。また、在学証明書・成績証明書などの各種証明書の発行、各種奨学金や教育職員免許の窓口にもなっており、学習や生活など学生サポートの中心的役割を果たしています。

② イノベーション&デザインスタジオ



イノベーション&デザインスタジオは、「グローバル人材の育成」と「イノベーション力の育成」をキーワードに、授業・授業外の予習復習・課外教育プログラムの充実に向けた新しい形の教室環境です。平日は 21 時まで開館しており、アクティブラーニングや学生間のチームラーニングなどで活用できる学習環境です。

③ 学生ステーション



学生ステーションは、学年・学科の異なる学生同士が、共通の話題で対話し、自由な活動を通じて自己成長を行う場です。平日は、21時までオープンしており、学生主体の交流イベント、講習会の実施や学生による学生相談を行っています。また、学内インターンシップ制度の窓口として、募集、スタッフガイダンスの実施、マネー研修会を実施しています。

④ アントレプレナーズラボ



アントレプレナーズラボは、それぞれが明確な目的を有し、様々なイノベーターとの交流を通じて、自らがイノベーション創出に取り組む人材へと常に変化する「企業家マインド」を醸成する場です。学生、教職員、企業や地域住民と共に、イノベーションに向けた「学び」「気づき」そして「行動」を実践する場として、セミナー、ワークショップや産学連携・地域連携教育研究プロジェクトを展開しています。

⑤ ライブラリーセンター



ライブラリーセンターは、教室や実験室で得た知識をさらに深める場として開館した新しい概念の図書館で、「学習支援」「研究支援」「卒業生支援」「地域の情報センター」としての役割を担っています。年間約340日、平日は22時まで開館しており、就職や授業と連携した文書添削指導の機能を有するライティングセンター、専門基礎学力の増進プログラムを運営する学習支援デスク、マルチメディア技術の修得を目的としたマルチメディア考房を有しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/kitlc/> で紹介しています。

⑥ プロジェクト教育センター



プロジェクト教育センターは、ものづくり機能を有する夢考房と、健康管理や体力の向上の機能を有するスポーツ考房から成っています。夢考房は年間300日、平日は21時まで、土曜・日曜は17時まで開館しており、安全作業の基本や工作機械の使用法を学ぶ講習会を年間345回実施するほか、ソーラーカーやエコランなどの学生プロジェクトを支援しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/yumekobo/> で紹介しています。

⑦ 数理工教育研究センター



数理工教育研究センターは、数学、理科および工学基礎分野の習熟度向上を狙いとして、「教材作成と学習開発の支援」「数理教育研究と調整」等の機能を有しています。特に、数学、理科科目の個別指導に注力し、Web教材、習熟度別教材の作成、また、それを用いた各種の課外学習プログラム、電子メールによるネットチューター等の運営を行っています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/efc/> で紹介しています。

⑧ 基礎英語教育センター



基礎英語教育センターは、英語能力の向上を目的に授業に関する個別指導の実施、外国人教員や留学生と英会話やゲームを楽しむ課アクティビティの運営などを行っています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/kyoiku/eigo.html>
<http://kitnet.jp/eec> で紹介しています。

⑨ 国際交流センター（留学支援課）



米国の協定校で語学と専門科目を履修する長期交換留学をはじめ、英語の実践的なコミュニケーション能力を身に付ける短期英語研修、海外体験型学習など数多くの留学プログラムを実施しています。また、米国協定校から留学生を受け入れ「金沢工業大学日本語教育特別プログラム（KIT-IJST）」を実施し、本学にしながら留学生と交流する機会を提供しています。留学支援課は、これらすべてのプログラムにおいて全面的に国内外の学生をサポートします。詳細は、

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/international/index.html> で紹介しています。

⑩ 情報基礎教育研究センター



情報基礎教育研究センターは、学生生活や社会生活で必要になる基礎的な IT 利用技術や、情報関連学科の学生が専門技術を学ぶために欠かせない IT 基礎技術を身につけるための学習支援を行っています。

⑪ 情報処理サービスセンター



情報処理サービスセンターでは、教育研究を進める上で欠かす事が出来ないコンピュータ、ネットワークなどの IT インフラに関する管理運営とともに学生ポータル、ポートフォリオ、履修登録などの教育系 Web システムと教職員向け学事システムなどの開発運用を行っています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/dpc/> で紹介しています。

⑫ 自己開発センター



自己開発センターでは、資格取得による学生の総合的な能力向上を推進しており、各資格試験の情報提供をはじめ、資格取得のための講習会も多数開催しています。また、既に資格を取得した学生が、今から資格取得を目指す学生を教える「学生と学生の学び合いの場」を運営しています。

詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/shikaku/> で紹介しています。

⑬ 進路開発センター



進路開発センターでは、専門のキャリアカウンセラーが学生の就職や仕事選びに関するアドバイスを行うとともに、模擬面接や履歴書の添削を実施しています。

22,500社を超える独自の企業情報データベースを構築し学生に公開するなど、就職活動に必要な情報を提供しています。また、学生の経済的負担を軽減するために、東京、京都・大阪、名古屋、新潟、山形・仙台に就職活動支援バスを運行しています。詳細は、<http://www.kanazawa-it.ac.jp/career/> で紹介しています。

⑭ 自習室



自習には、個人で自習する場合と、複数人もしくはチームで自習する形態があります。本学には個人利用の自習室に加えて、チームでも使用できる自習室として、いつでも課外学習に取り組めるよう、235席を有する365日24時間オープン自習室があります。この年間の利用者数はのべ53万人です。

⑮ 穴水湾自然学苑



穴水湾自然学苑は、扇が丘から北北東へおよそ 100km、車で約 2 時間の能登半島国定公園の景勝地、穴水町由比ヶ丘にあります。ここには鉄筋 4 階建、収容人数約 150 名のセミナーハウスをはじめ、体育館、グラウンド、専用のヨットハーバーがあり、ハーバーには、艇庫、調査研究船、外洋クルーザー、ヨットなどが揃っています。学部 1 年、2 年、3 年に開講する人間形成基礎科目「人間と自然セミナー」では 2 泊 3 日の合宿形式による集中授業を行っています。

⑯ 天池自然学苑



天池自然学苑は、本学のメインキャンパスである扇が丘キャンパスからバスで約 25 分の金沢市南東部の丘陵地に位置し、体育館、サッカー場、ラグビー場、野球場、ゴルフ練習場などがあり、体育の授業や学生の課外活動に使用しています。

⑰ 池の平セミナーハウス



池の平セミナーハウスは、本学のメインキャンパスである扇が丘キャンパスから自動車約 3 時間の新潟県妙高高原にある収容人数 60 名の施設です。ここでは、研究室単位の活動として教員と寝食を共にし、この研修を通して教員や友人とのコミュニケーションの充実を図ることを目的に使用しています。